

開催日時：平成 28 年 8 月 23 日（火）午後 7 時～8 時 30 分

場 所：平公民館

出席者：11 名

《フリートーク（意見交換）》

- 1 道路整備要望の進捗状況について
- 2 巴川整備の進捗状況について。
- 3 平地区の市所有のグラウンドについて
- 4 空き地の草刈りについて
- 5 空き家の草刈りについて
- 6 地域活性化策について
- 7 市立図書館の貸し出し冊数について
- 8 道路側溝の要望について
- 9 教職員の行政区加入について
- 10 愛宕山周辺の観光ルートについて
- 11 地域交流センターともべについて
- 12 未婚者について
- 13 企業進出の経済効果について
- 14 SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の活用について
- 15 学生の活用について

1 道路整備要望の進捗状況について

【意見等】

平公民館から 355 号線を越えて東に抜ける道路の整備について要望を出しているが、対応状況を知りたい。

【回答】

要望が出ていることは承知しています。道路の改良等の要望は年に 70 から 80 件ほど受けていて、特に（幅員の）拡幅についてはその都度にはできないので、半年ごとに、それまでにいただいた要望をまとめてさまざまな角度から検証し、優先順位をつけて対応しています。件の道路について、具体的な整備時期は未定ですが、今後回答します。

なお、道路を拡げるのに伴い、U字溝を設置し、排水を巴川にもっていく必要がありますが、県では巴川の整備を検討しています。また、線路が上を通るので、JR との調整も必要となります。県や JR と調整して進めていきます。

## 2 巴川整備の進捗状況について

### 【意見等】

巴川の整備状況を伺いたい。

### 【回答】

県が積極的に対応する姿勢ですので、近く回答があると思います。

## 3 平地区の市所有のグラウンドについて

### 【意見等】

市の所有だが、地元で草刈りをして自由に使わせてもらっている。将来的に売却する予定はあるのか。

### 【回答】

道路用地の残地や空き地など、市所有の土地は多くあります。市としては使う予定のない土地は処分する予定で公売にかけたりします。小さい土地であれば隣接の方に買っていただけないか話をしたりしています。こちらのグラウンドについては、まだ土地の評価を出していないので、当面は地元で使っただけです。

## 4 空き地の草刈りについて

### 【意見等】

地区内に不在地主の土地があつて、地元住民で草刈りをしている。岩間支所を通して地主に管理に関する署名を提出したが、返答がない状況だ。

### 【回答】

基本的には、市が地主に話をします。しかし、対応してくれない人もいるので、そこが課題です。根気強く話をしていこうと思っています。

## 5 空き家の草刈りについて

### 【意見等】

常磐線の鉄橋下に空き家があり、草がかなり伸びている。一度市に相談したら草刈りに来てくれた。しかし、それきりである。

### 【回答】

所有者に話をします。管理されている空き家については、紹介していただければ空き家バンクで仲介しています。岩間地区でも空き家を借りて住んでいる方がいます。

## 6 地域活性化策について

### 【意見等】

笠間市の地域活性化策について伺いたい。

**【回答】**

人口減少が進む中で、どのように地域の成長を求めていくか、さまざまな角度から取り組みが必要です。子育て支援や企業誘致、農業を含めた産業育成、生活道路などのインフラ整備などを進めていきます。

国が地方創生の取り組みを進めていますが、市の取り組みとして、東京圏などに就学した学生に笠間市にUターンしていただくことも必要です。そのためには、市内に就職先があることが大切です。そこで、市では優良企業を紹介し、企業を巡るバスツアーも実施する予定です。

また、東京圏に住んでいる人に笠間に移住していただくことや、二地域居住の促進もしています。特に、元気な人の移住促進を図っています。さらに、友部駅周辺を民間企業に整備していただき移住者の増加を図る予定です。

他には、筑波海軍航空隊記念館について、必要に応じて耐震補強を行い保存することで、観光拠点としての充実とともに、平和教育の場としても活用していければと考えています。記念館には、2年半で12万人ほどの来場者があり、映画の撮影も50から60本ほど行われているので、整備することは意味があることだと思えます。

## 7 市立図書館の貸し出し冊数について

**【意見等】**

図書館の貸し出し冊数が全国1位なのはなぜか。

**【回答】**

笠間市の3つの図書館の貸し出し冊数は、人口8万人未満の都市の中で1位となっています。理由としては、本が好きな市民が多いことがあると思います。また、時期ごとにテーマを決めて貸し出しを行っています。

例えば、去年は戦後70年でしたので、戦争をテーマとしたコーナーを設けました。他にも、医療が社会問題となっているときには、医療関係のコーナーを設けたりしています。

さらに、借りたい本が無かった場合はすぐに購入するようにしています。利用者の年齢層は、子どもから高齢の方まで幅広いと思います。1人で7~8冊借りていく方もいます。

## 8 道路側溝の要望について

**【意見等】**

8月上旬に大雨で冠水してしまう道路の側溝設置について要望を出した。対応はいつになるか。

**【回答】**

道路の拡幅などの場合は、要望を半年ごとにまとめて検討していますが、側溝の整備などはその都度回答しています。確認します。

## 9 教職員の行政区加入について

### 【意見等】

教職員の中には、部活動があるなど忙しく、行政区に入らない人がいる。入会するには、お金がかかることもハードルになっているのかもしれない。できれば、入ってほしいと思っている。

### 【回答】

本来は、地域に引っ越してきたら、行政区に入るのが筋だと思います。

しかし、入らない人が増えてきています。入らない理由として、入会金などが理由の人も中にはいると思います。入りやすくするために、入会金を安くすることなども一つの方法だと思いますが、地域で決めているルールですので、市から言えることではありません。市では窓口で文書を渡し加入をお願いしています。それだけで入ってくれない人もいますが、引き続き加入促進は続けていきます。

## 10 愛宕山周辺の観光ルートについて

### 【意見等】

愛宕山周辺の観光ルートの整備について伺いたい。

### 【回答】

愛宕山周辺をハイキングの拠点として整備する予定です。駅の西側に地域交流センターを整備し、愛宕山を登る道路に歩道を作っていき、今後設置予定のポケットパークまで整備します。

ポケットパークでは、愛宕山の紹介ができるようにするつもりです。また、商工会岩間事務所があるあたりの道路と付近の丁字路についても、歩道を整備します。

トイレについては、岩間駅にあり、建設予定の地域交流センターにも設置します。次のトイレは愛宕山の鳥居のところですが、そこまで40分から50分です。我慢できない時間ではないのかと思います。

ジオパークの関係では、愛宕山、難台山、吾国山、柊山、佐白山を含む観光ルートを作る計画があります。9月9日に審査結果が出ますが、認定されれば良い観光ルートになると思います。

## 11 地域交流センターともべについて

### 【意見等】

地域交流センターともべはいつ完成するのか。

### 【回答】

今年の12月に完成し、翌年1月にオープンする予定です。交流センターは、自由度を高めようと考えています。開館時間は8:30～22:00ですが、申請があればもっと早い時間から使えるようにして、飲食可とする予定です。

## 12 未婚者について

### 【意見等】

結婚したくても、できない人が増えている。

### 【回答】

民間企業では、JA やライオンズクラブなどが婚活パーティーなどを開催していて、市では補助金を支出しています。

しかし、なかなか結果には結び付いていません。昨年、試験的に結婚を仲介する人を支援する婚活サポーター制度を開始し、市がサポーターに物的な支援を行っていますが、なかなか成果は出ていません。サポーターがより活発に動けるような仕組みを考えています。パーティーの支援も継続していきます。

## 13 企業進出の経済効果について

### 【意見等】

畜産試験場跡地にモノタロウが立地したが、市にお金は入るのか。

### 【回答】

市では誘致策として、最大5億円の補助を出しています。また、固定資産税は3年間免除しています。そのため、税収の効果が出るのは6年目から7年目となる試算です。

ただ雇用が最終的に300人ほどになり、従業員の消費による経済効果も考えると、笠間にメリットがあると判断しました。モノタロウは大阪に本社がありますが、笠間を関東の物流拠点とするようです。年間100億円くらい売り上げが伸びています。

また、茨城中央工業団地笠間地区にジャパンテックが進出しました。従業員数は25人から30人ほどですが、1億円の補助をしています。ジャパンテックはペットボトルの事業では最先端の企業です。このように、市は成長が見込める企業に投資しています。

市の企業誘致策は、県内市町村では1番充実していると思います。しかし、畜産試験場跡地にはまだ空きがありますし、茨城中央工業団地笠間地区も早く埋めないといけないと思っています。2020年のオリンピックまでに誘致できたらと考えています。

## 14 SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の活用について

### 【意見等】

市では SNS を活用しているのか。

**【回答】**

市では秘書課を中心にフェイスブックを運用しています。また、図書館ではツイッターを運用しています。

**15 学生の活用について**

**【意見等】**

学生のアイデアを募集するまちづくりコンペなどは実施していないか。

**【回答】**

コンペという形では行っていませんが、茨城大学の学生とまちづくりに関する意見交換をしたり、発表会をしたりしています。

また、武蔵野美術大学と連携して、市内を巡ってまちづくりの案を絵に描いてもらっています。これまでに稲田地区と岩間地区で実施して、次は友部地区で実施する予定です。その他に、栗のマークを作ってもらいロゴにしたりもしました。学生などから幅広く意見をいただくことは必要だと思いますので、今後機会を設けることも検討します。